

令和2年度(2020年度)「地域おこし協力隊」の活用状況等について

令和3年(2021年)6月

1 令和2年度の活用状況

(1) 隊員数

686人/153市町村

(2) 年度別推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市町村数	4	16	24	38	58	75	104	125	142	154	154	153
隊員数	10	38	55	92	168	225	348	511	593	656	631	686

(3) 道内活用状況一覧

振興局	市町村名	隊員数
空知 (24)	夕張市	7
	岩見沢市	1
	美唄市	9
	芦別市	2
	赤平市	2
	三笠市	19
	滝川市	1
	砂川市	6
	歌志内市	2
	深川市	4
	南幌町	1
	奈井江町	1
	上砂川町	7
	由仁町	1
	長沼町	2
	栗山町	8
	月形町	7
	浦臼町	2
	新十津川町	5
	妹背牛町	3
	秩父別町	2
	雨竜町	3
	北竜町	1
	沼田町	10
空知計	106	
石狩 (3)	江別市	4
	石狩市	6
	新篠津村	2
石狩計	12	
後志 (16)	島牧村	3
	寿都町	6
	黒松内町	3
	蘭越町	1
	ニセコ町	23
	真狩村	1
	留寿都村	1
	喜茂別町	1
	倶知安町	1
	共和町	3
	岩内町	7
	神恵内村	3
	積丹町	4
	仁木町	8
	余市町	1
	赤井川村	3
後志計	69	
胆振 (10)	室蘭市	1
	苫小牧市	1
	伊達市	2
	豊浦町	8
	壮瞥町	4
	白老町	8
	厚真町	18
	洞爺湖町	1
	安平町	7
むかわ町	3	
胆振計	53	

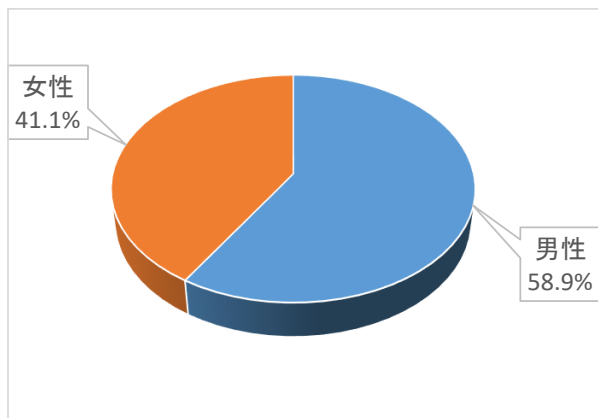
振興局	市町村名	隊員数
日高 (6)	日高町	4
	平取町	2
	新冠町	3
	浦河町	3
	様似町	5
	えりも町	1
日高計	18	
渡島 (8)	函館市	2
	福島町	1
	木古内町	3
	七飯町	3
	鹿部町	6
	森町	3
	八雲町	8
	長万部町	3
渡島計	29	
檜山 (6)	江差町	2
	上ノ国町	2
	厚沢部町	4
	乙部町	4
	今金町	2
	せたな町	2
檜山計	16	
上川 (22)	旭川市	1
	士別市	11
	名寄市	1
	富良野市	2
	鷹栖町	5
	東神楽町	3
	当麻町	2
	比布町	2
	愛別町	3
	上川町	12
	東川町	48
	美瑛町	5
	上富良野町	1
	中富良野町	3
	占冠村	2
	占美町	1
	剣淵町	5
	下川町	7
	美深町	4
	音威子府村	1
	中川町	6
	幌加内町	3
上川計	128	
留萌 (4)	留萌市	4
	増毛町	6
	初山別村	5
	天塩町	3
留萌計	18	
宗谷 (9)	稚内市	1
	猿払村	5
	浜頓別町	2
	中頓別町	8
	枝幸町	3
	礼文町	3
	利尻町	11
	利尻富士町	3
	幌延町	5
宗谷計	41	

振興局	市町村名	隊員数
オホーツク (15)	北見市	8
	網走市	3
	紋別市	9
	美幌町	3
	津別町	8
	斜里町	2
	清里町	1
	小清水町	3
	置戸町	1
	遠軽町	5
	湧別町	5
	滝上町	2
	西興部村	6
	雄武町	1
	大空町	3
オホーツク計	60	
十勝 (18)	帯広市	2
	音更町	2
	士幌町	3
	上士幌町	17
	鹿追町	5
	新得町	17
	清水町	4
	芽室町	7
	中札内村	3
	更別村	7
	大樹町	2
	広尾町	1
	幕別町	1
	池田町	4
	本別町	4
	足寄町	8
	陸別町	3
浦幌町	7	
十勝計	97	
釧路 (7)	釧路市	3
	厚岸町	6
	浜中町	1
	標茶町	3
	弟子屈町	8
	鶴居村	2
	白糠町	3
釧路計	26	
根室 (5)	根室市	2
	別海町	2
	中標津町	3
	標津町	4
羅臼町	2	
根室計	13	
計(153市町村)	686人	

(4) 隊員の内訳

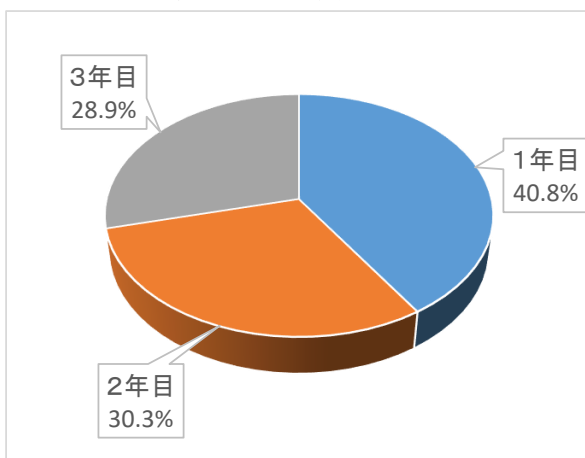
① 男女構成

隊員の男女の構成は、「男性」が58.9%(404人)で、「女性」が41.1%(282人)となっています。



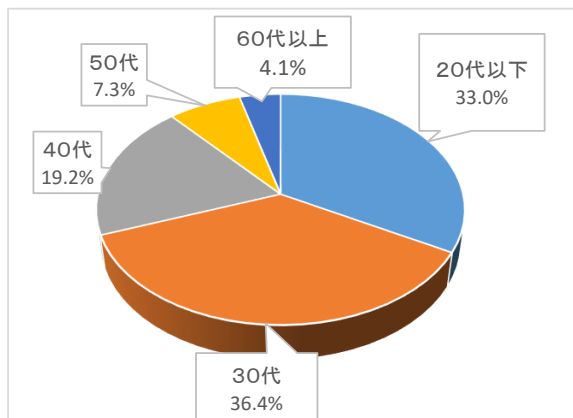
③ 活動期間

隊員の活動期間は、「1年目」が40.8%(280人)と最も多く、次いで「2年目」が30.3%(208人)、「3年目」が28.9%(198人)となっています。



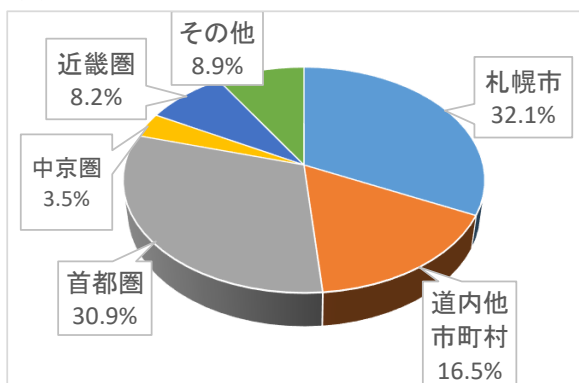
② 年齢構成

隊員の年齢構成は、「30代」が36.4%(250人)と最も多く、次いで「20代以下」が33.0%(226人)、「40代」が19.2%(132人)の順となっています。



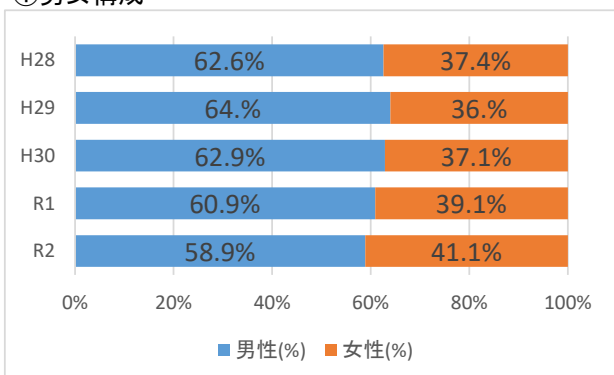
④ 隊員の前居住地

隊員の前居住地は、「札幌市」が32.1%(220人)と最も多く、次いで「首都圏」が30.9%(212人)、「札幌市以外の道内市町村」が16.5%(113人)の順となっています。

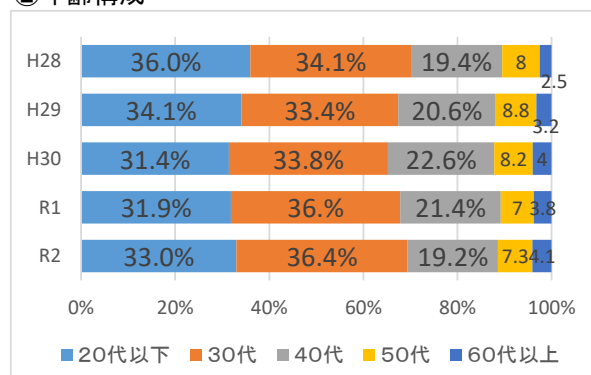


(5) 地域おこし協力隊の平成28年度(2016年度)から令和2年度(2020年度)までの経年比較

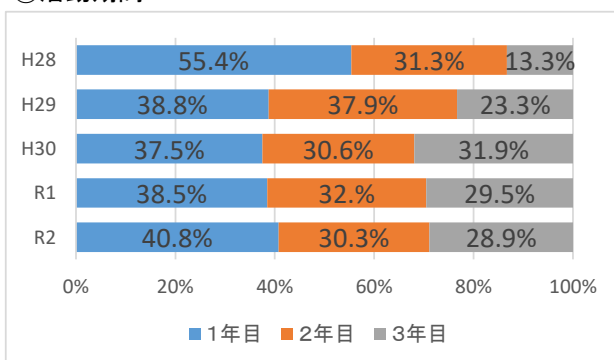
① 男女構成



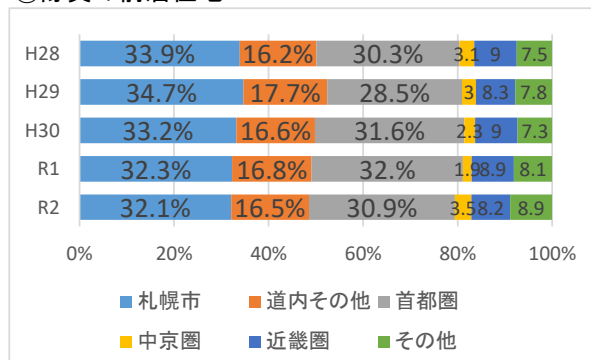
② 年齢構成



③ 活動期間



④ 隊員の前居住地



2 「地域おこし協力隊」の制度概要

- (1) 地方自治体が、都市住民を受け入れ、地域おこし協力隊員として委嘱。
- (2) 隊員は、地域おこし活動の支援（観光振興、イベント応援等）や農林水産業の支援、住民の生活支援などに従事し、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献する。
- (3) 活動期間は、概ね1年以上最長3年
- (4) 総務省による財政支援（特別交付税措置）
 - 隊員の活動に要する経費 隊員1人あたり470万円上限
※報償費等（上限270万円）＋活動費（上限200万円）
※27年度より、報償費の弾力化（隊員1人あたり上限320万円）
 - 隊員等の起業・事業継承に要する経費（上限100万円、1年に限る。）
 - 隊員募集等に要する経費 1団体あたり200万円上限
 - 体験プログラムに要する経費 1団体あたり100万円上限
 - 地域おこし協力隊インターンの実施に要する経費 1団体あたり100万円上限
 - 隊員としての任期を終了した者が引き続き定住するための空き家の改修に要する経費（措置率0.5）